

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～35
世 界 史	36～49	地 理	50～65
数 学	66～68		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学は志望学部・学科によって解答する問題が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。なお、以下の注意事項も参照すること。
 - ・ 解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・ 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・ その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・ 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

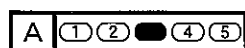
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

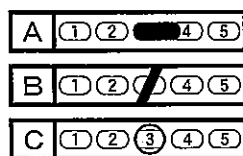
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔I〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

平安時代の初期には、唐からもたらされた最新の文化の摂取と消化が進展した。平安遷都の時期にあたる8世紀末から始まり9世紀代を中心とするこの文化を、
[1] 天皇・ [2] 天皇の時の年号から弘仁・貞観文化と呼んでいる。

この時期は前代の文化に引き続き唐の仏教文化の影響が強いが、大寺院の多くは平城京に残され、遣唐使に従って唐に渡った [a] や [b] によって開かれた天台宗や真言宗が興隆した。こうした新たな寺院は多くの場合山中に建立されたため、従来の伽藍配置にとらわれることなく、その地形に応じて諸施設を配置することに特徴がある。

また、この時期には中国の文学・歴史を摂取することが国家経営に重要であると考えられ、文章経国の思想が広まり、紀伝道がさかんに学ばれた。漢詩集に関しては、 [1] 天皇が『 [あ] 』、 [3] 天皇が『経国集』の編纂を命じており、漢文学がさかんになったことがわかる。書道の分野においては [b] ・ [1] 天皇・橘逸勢は後に三筆と賞賛されている。貴族たちは一族の子弟の教育のために、大学別曹を整備していった。また、 [b] は庶民に対する教育機関として綜芸種智院を創設している。

その後、唐の衰退を背景にして遣唐使が廃止されるころから、これまで摂取してきた文化をもとにして、貴族社会を中心にした優雅で洗練された文化の形成が進んだ。10世紀から11世紀にかけての文化は国風文化と呼ばれている。

この時期の仏教は天台宗や真言宗が大きな勢力を占めていたが、いっぽうでは来世への願いを背景とした阿弥陀信仰にもとづく浄土教の思想も次第に盛んになっていった。市聖とよばれた [c] は念仏行脚を行い、貴族や庶民の信仰を集めた。 [d] による『往生要集』や、慶滋保胤の『 [い] 』は浄土教にもとづく著作である。11世紀になると都や地方の乱れや疫病の流行といった状況が末法思想と結びつき、浄土への願望がさらに強くなっていった。こうした信仰の

A

姿は浄土教美術として現代に伝えられている。極楽浄土を現出させたかのような姿をみせる京都府の平等院鳳凰堂が著名であり、阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂が各地に建立された。こうした状況のもとで、新たな彫刻の技術として寄木造の技法が発達し、はこの技法による多くのすぐれた仏像を制作した。

国風文化の象徴とされるのは、かな文字の発達と普及である。漢字の音訓を利用した万葉がなをもとにして、9世紀には片かなと平がなが工夫されていたが、それらは字体を整えられて広く普及していった。和歌がさかんに詠まれるようになり、勅撰和歌集である『』が成立したのは10世紀初頭である。また、かな文字による物語文学も残されており、『竹取物語』、『』、『源氏物語』などが著名である。書道においては和様の書体が流行し、小野道風・藤原佐理・藤原行成は三蹟といわれた。このように、平安時代の文化は唐風の文化の摂取から、それらをもとにした独自の文化形成へという流れをたどっていったのである。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な天皇の名を以下のア～ケのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア	文徳	イ	淳和	ウ	朱雀	エ	陽成
オ	嵯峨	カ	醍醐	キ	清和	ク	仁明
ケ	宇多						

問2 空欄 ～ に入るもっとも適切な人名を以下のア～ソのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア	鑑真	イ	円珍	ウ	空海	エ	行基
オ	最澄	カ	喜撰	キ	運慶	ク	定朝
ケ	良弁	コ	円仁	サ	快慶	シ	空也
ス	栄西	セ	道元	ソ	源信		

問3 下線部(1)について、以下のア～エのなかから誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 天台宗は華嚴經を中心經典とし、10世紀に入ってから寺門派・山門派に分裂した。

イ 真言宗は東密と呼ばれており、天台宗は後に密教化して台密と呼ばれるようになった。

ウ 真言宗は大日經や金剛頂經を中心經典とし、秘密の呪法によって悟りを開こうとするものであった。

エ 密教は山岳信仰と結びつき、後の修験道の源流となった。

問4 空欄 ～ に入るもっとも適切な作品名を以下のア～シのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 和名類聚抄

イ 和漢朗詠集

ウ 伊勢物語

エ 新古今和歌集

オ 日本往生極楽記

カ 千載和歌集

キ 懐風藻

ク 宇治拾遺物語

ケ 古今和歌集

コ 今昔物語集

サ 教行信証

シ 凌雲集

問5 下線部(2)および(3)に関連して、以下のア～エのなかから誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 弘仁・貞観文化期には王羲之をはじめとした中国の書家を範とする唐風の書が好まれた。

イ 国風文化期には、かな文字の普及の影響を受けて優美で繊細な線をあらわす書が残されるようになった。

ウ 三筆の作品として著名なものは、『風信帖』や『光定戒牒』などであり、三蹟の作品としては、『屏風土代』や『秋萩帖』などがよく知られている。

エ 国風文化期には書道と大和絵が融合した作品が残されており、藤原佐理の筆による『扇面古写経』は後世になって傑作と賞賛された。

問6 下線部A「末法思想」について、80字以内で説明せよ。句読点も1字に数える。算用数字は1マスに2字記入してもよい。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

鎌倉幕府が成立すると、武士にも政治にたずさわる者としての自覚が生まれ、治者にふさわしい学問・教養を身につけようと努めるようになった。たとえば源^a実朝は和歌に秀で、藤原定家にも教えを受けている。それは当代随一の歌人である後鳥羽天皇と和歌の交流を通して信頼関係を築くことに役立った。多くの貴族^bが京都から鎌倉に招かれ、学問・教養を武士に授けた。

学問の中心は中国と日本の古典の学習であり、そのために和漢の書物が収集された。その一つの実例に、金沢(北条)実時^cとその子孫の収集した書物を伝える金沢文庫がある。その所在地が鎌倉から離れていたため、鎌倉の街が焼け失せた幕府滅亡^dの戦乱のときにも、この金沢文庫は被災を免れ、所蔵する書物が遺された。多くの貴重な文献がこの金沢文庫のお蔭で今に伝えられている。実時とその子孫^eのみならず、多くの武士が学問に励んだことを考えれば、いかに膨大な量の和漢の書物が鎌倉に集められていたか、容易に想像することができるであろう。

幕府は政治の実務も朝廷から学んだ。源頼朝は貴族を鎌倉に定住させ、幕府の運営^fに当たらせた。実務の一つに裁判がある。幕府は裁判をきわめて重視したが、裁判を公正に遂行するには、朝廷の裁判制度を取り入れるとともに、律令などの朝廷の法^gに習熟しなければならなかった。その道の専門家である貴族を幕府は必要としたのである。

仏教を学ぶことも学問の領域であった。幕府関係者は当時の最先端の仏教である禅に帰依し、栄西・道元^hなどの高僧を鎌倉に招く一方、天台宗・真言宗や南都ⁱ仏教も重んじ、明恵に帰依し、叡尊を鎌倉に招いた。鎌倉にはさまざまな宗派に属する数多くの寺院が建立された。日蓮や一遍も鎌倉で活動している。

貴族・僧侶ばかりではなく、絵師や仏師(仏像制作職人)も京都・奈良と鎌倉の両方で活動した。京都の文化が鎌倉に移植されるとともに、そこから生まれた活力と新しい感性によって、鎌倉時代の文化は特色あるものとなった。

鎌倉幕府が滅亡し、室町幕府^kが京都に開かれると、鎌倉時代以来の文化が京都を中心にして一層の発展をみせる一方、東国^lにおいてもその文化の継承・発展がみられた。

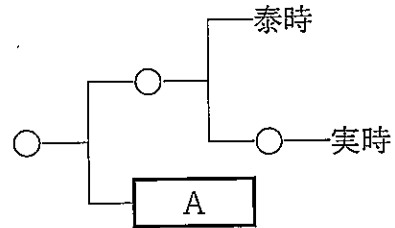
問1 下線部 a の源実朝の詠んだ和歌を集めた歌集の名を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 山家集
- イ 金槐和歌集
- ウ 新古今和歌集
- エ 菟玖波集

問2 下線部 b の後鳥羽天皇について説明した以下のア～エのなかから誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 後鳥羽天皇は祖父の後白河天皇に選ばれて即位した。
- イ 後鳥羽天皇は平家が壇の浦の戦いで滅亡する前に生まれた。
- ウ 後鳥羽天皇の子孫で天皇に即位したのは土御門天皇・順徳天皇・仲恭天皇の三人だけである。
- エ 後鳥羽天皇は承久の乱に敗れ、隠岐の地で死去した。

問3 下線部 c の金沢(北条)実時に関する右の系図について、 に該当する人物を以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。



- ア 時房
- イ 義時
- ウ 重時
- エ 時政

問4 下線部 d の鎌倉幕府の滅亡よりも以前のできごとを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 後醍醐天皇が吉野に逃れた。
- イ 北条時行が鎌倉を攻撃した。
- ウ 光厳天皇が即位した。
- エ 北畠親房が『神皇正統記』を著した。

問5 下線部 e に関し、金沢文庫に所蔵されていた書物の一例に藤原通憲(信西)の著した『法曹類林』がある。通憲について説明した以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 通憲は藤原信頼方の軍勢に追い詰められて自殺した。
- イ 通憲は崇徳上皇の近臣であり、後白河天皇と対立した。
- ウ 通憲は平清盛と結んで源義朝と戦い、義朝を滅ぼした。
- エ 通憲は源義朝の子の頼朝を伊豆国に流罪にした。

問6 下線部 f のように、貴族出身で鎌倉に定住して幕府の運営にたずさわった人物を以下のア～キのなかから二人選び、その両方の記号を解答欄にマークせよ。

- ア 和田義盛 イ 三善康信 ウ 比企能員 エ 梶原景時
- オ 大江広元 カ 藤原定家 キ 九条兼実

問7 下線部 g の律令などの朝廷の法をさす語を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 本所法 イ 武家法 ウ 分国法 エ 公家法

問8 下線部 h の栄西・道元について説明した以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 栄西は日本における曹洞宗の祖とされ、道元は臨済宗の祖とされた。
- イ 栄西も道元も宋に渡ることなく、日本独自の禅を追究した。
- ウ 道元は只管打坐の禅を説き、越前国の山中に永平寺を創建した。
- エ 栄西は密教の祈禱僧としても活躍し、京都に知恩院を創建した。

問9 下線部 i の南都仏教について説明した以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 叡尊は戒律を重んじて真言律宗を開き、非人や病人の救済活動を行った。

イ 明恵は華嚴宗の興隆につとめ、法然の『教行信証』を批判する書物を著した。

ウ 貞慶は華嚴宗の僧侶であり、戒律の復興につとめた。

エ 忍性は叡尊の弟子であり、鎌倉に北山十八間戸を建てて、病人を救済した。

問10 下線部 j に関し、鎌倉時代の絵師や仏師ではない人物を以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 湛慶 イ 藤原信実 ウ 康勝 エ 善阿弥

問11 下線部 k の室町幕府について説明した以下のア～エのなかから誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 尊氏ははじめのころ、弟の直義にも政務を分担させた。

イ 尊氏と直義および高師直の三人は、十数年もの間、武力抗争をくりひろげた。

ウ 尊氏が将軍に就任した1年後、後醍醐天皇は吉野で死去した。

エ 半濟令がくりかえし発布され、守護の支配力が強まった。

問12 下線部 l に関し、室町時代の東国について説明した以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 北条早雲が古河公方を滅ぼし、みずから鎌倉公方を名乗った。

イ 鎌倉府が遠江・信濃以東の15カ国を統轄した。

ウ 足利学校が関東管領上杉憲実によって再興された。

エ 足利義教が足利持氏を滅ぼし、鎌倉府を古河と堀越に分割した。

〔Ⅲ〕 つぎの1～12の文章を読み、各文の下線部 a～d の語句のなかから誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

1. 豊臣秀吉は、1585年に朝廷から関白、その翌年には太政大臣に任じられた。1588年には後陽成天皇を京都の二条城にむかえ、その機会に関白として諸大名をひきいて忠誠を誓うとともに、天皇の權威によって政權の基盤を固めようとした。やがて秀吉は、関白職を養子の秀次に譲ったが、太閤と称して実權をふるった。
2. 桃山文化のなかで、絵画の名作が数多く生み出された。狩野永徳は金碧画の六曲屏風『唐獅子図屏風』を描き、その門人の狩野山楽は『松鷹図』という雄大な作品を制作した。また海北派の祖・海北友松は濃墨による鋭い筆勢の『山水図屏風』を、長谷川派の祖・長谷川等伯は水墨画の和様化をはかった『四季山水図卷』の傑作を描いた。
3. 江戸幕府は地方組織を整え、なかでも京都所司代は重要なもので、朝廷の統制や西国大名の監視などをおこなった。重要都市の京都・大坂・奈良には城代と町奉行が、伏見・長崎・佐渡・日光などには奉行(いわゆる遠国奉行)がおかれた。それ以外の幕府直轄領には郡代・代官がこまかく配置され、勘定奉行が統轄した。
4. 豊臣秀吉の時代に引き続き、江戸時代のはじめにも日本人の海外進出はさかんで、ルソン・安南・カンボジアなどに渡航する者たちの船も多かった。幕府は彼らに渡航免許の朱印状をあたえた。この船を朱印船といい、それによる貿易もおこなわれた。朱印船を出した大名には島津家久・有馬晴信らがあり、商人には京都の角倉了以、長崎の末吉孫左衛門らがいた。

5. 17世紀半ば、儒学の発達の中なかで、孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派^aがうまれた。山鹿素行は『聖教要録』で朱子学を批判して幕府の処罰を受けたが、伊藤仁斎は京都に**護園塾**^bを開いて政治と道徳を区別する学風を形成し、荻生徂徠は將軍徳川吉宗に示した意見書『政談』^cを著した。^d
6. 徳川綱吉の死後、その甥の**徳川家宣**^aが6代將軍となったが、在職3年余りで死去し、ついでその子の**徳川家慶**^aが幼少で7代將軍となった。6代・7代將軍のもとで、側用人の**間部詮房**^bや儒学者の新井白石らの側近はそれまでの幕府政治を修正し、良貨発行や貿易制限などをおこなった。この時代の政治を**正徳の治**^cという。^d
7. 江戸時代になると、農業生産が大きく進展したが、その背景にはさまざまな要因があった。たとえば、農具では深耕用の**千齒扱**^a、選別用の**唐箕**^bなどが考案され、肥料は主に山野から採取した草を田畑にすきこんだ**刈敷**^cによったが、都市周辺部では下肥が用いられ、干鰯・油粕などの**金肥**^cも利用されるようになった。^d
8. 江戸時代、幕府は江戸の治安や人質監視のため、五街道・脇街道(脇往還)などの山岳地域や河川・湖沼地域に関所を配備した。関所では関所手形(通行手形)の提示を求め、とくに関東の関所では「入鉄砲に出女」をきびしく取り締まった。主な関所には東海道の**箱根**^a、中山道の**木曾福島**^b、甲州道中の**碓氷**^c、奥州・日光道中の**栗橋**^dなどがあった。
9. 江戸幕府は、貨幣鑄造権を独占し、金座・銀座・銭座を設けて、金・銀・銭の三貨を統一通貨として発行し、全国に通用させた。金座は江戸と**京都**^aにおかれ、また銀座はまず伏見と**大坂**^bにおかれ、のち京都と**江戸**^aに移された。さらに銭座は、寛永期に江戸と**近江坂本**^bにおかれ、寛永通宝^cを大量に鑄造した。^d

10. 18世紀以降、漢訳洋書の輸入制限がゆるめられると、西洋の知識や学問への関心が高まり、洋学はまず蘭学として発達した。山脇東洋は日本最初の解剖図録『葳志』、大槻玄沢はオランダ語の入門書『蘭学事始』、その門人稲村三伯は蘭日辞書である『ハルマ和解』、志筑忠雄はニュートンの物理学などを紹介した『曆象新書』を著した。
11. 18世紀半ばになると、多くの藩では藩政改革がおこなわれ、人材育成の必要から藩校(藩学)がさかんに設立された。藩校では、はじめ朱子学を主とする儒学の講義や武道を加えた教育がおこなわれたが、のちには洋学や国学などをとり入れるところもあった。藩校には、熊本藩の明倫館、鹿児島藩の造士館、米沢藩の興讓館、会津藩の日新館などがあった。
12. 開国後の貿易の拡大は、流通機構にも大きな変動をおよぼした。そこで幕府は、1860年、五品江戸廻送令を出し、生糸のほか、茶・雑穀・水油・呉服を産地から必ず江戸の間屋を経て輸出するように命じたが、輸出向け商品を取り扱った在郷商人や商取引の自由を主張する諸外国の反対で効果はあがらなかった。

〔IV〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

大戦景気のもと、日本の産業は発展をとげた。貿易では、ヨーロッパ諸国への^a 1 の輸出のほか、アジア市場への 2 などの輸出、アメリカ市場への 3 などの輸出が著しく増加した。ドイツからの 4 などの輸入が途絶えたため、化学工業が勃興した。また、世界的な船舶不足を背景に造船業・海運業が大きく発展した。鉄鋼業では、官営八幡製鉄所の拡張などが行われた。軽工業も発展し、日本の紡績会社の資本で上海・青島などに紡績工場が建設された。^b 電力業では、^c 1915年に あ ・東京間の長距離送電にも成功し、電力が工業の主要な動力源となった。

第一次世界大戦が終結し、復興が進むヨーロッパ諸国の製品がアジア市場に再登場してくると、日本経済は苦境に立たされ、1920年の株価暴落を契機に戦後恐慌が発生した。1927年には金融恐慌が発生し、 A 内閣はモラトリアム(支払猶予令)を発し、日本銀行による非常貸出を行うことで事態を收拾した。1920年代の不況期においても、財閥は、金融面から産業支配を進めるほか、政党との結びつきを深めた。例えば、三井と い とのつながりは世間に知られていた。

大戦景気の時期にも、民衆の生活は、物価の高騰により苦しめられていた。1918年に米価が急騰すると、 う が全国に広がり、 B 内閣のもと政府は軍隊を出動させて鎮圧にあたった。労働運動も高揚し、友愛会から改称した大日本労働総同盟友愛会は1920年の第1回メーデーを主催した。^d 1920年代、農村でも、小作料の減免を求める小作争議が頻発した。これら社会運動の高まりを背景に、文学の分野ではプロレタリア文学運動が進められ、小林多喜二の a や徳永直の b などの著作が発表された。

問1 下線部 a に関連して、大戦景気の時期における産業の動向についての説明として、誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 工業生産額が農業生産額を上まわった。
- イ 工場労働者の数が150万人を超えた。
- ウ 重化学工業の生産額が工業生産額の5割を超えた。
- エ 重化学工業の労働力として男性労働者が増加した。

問2 文中の空欄 に入るもっとも適切な語句を以下のア～カのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 綿織物 イ 毛織物 ウ 生糸
- エ 米・大豆 オ 薬品・肥料・染料 カ 軍需品

問3 下線部 b「官営八幡製鉄所」に関する説明として、正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア フランスの技術を導入して1901年に操業を開始した。
- イ 大冶鉄山の鉄鉱石や筑豊炭田の石炭などが利用された。
- ウ 生産が本格化するの日は清戦争のころであった。
- エ 官営事業払下げにより日本製鉄会社の製鉄所となった。

問4 下線部 c のように、日本の紡績会社の資本で中国に設立された紡績工場を何と呼ぶか。漢字3文字で解答欄に記せ。

問5 文中の空欄 に入るもっとも適切な語句を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 大阪 イ 横浜 ウ 諏訪 エ 猪苗代

問6 文中の空欄 に入るもっとも適切な政党名を以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 立憲政友会 イ 立憲民政党 ウ 立憲同志会 エ 立憲改進黨

問7 文中の空欄 には、民衆が米価高騰や米の不売などに対して起こした抗議運動の名称が入る。当てはまる語句を漢字3文字で解答欄に記せ。

問8 文中の空欄 に入るもっとも適切な人物を以下のア～カのなかからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 原敬 イ 田中義一 ウ 若槻礼次郎
エ 寺内正毅 オ 大隈重信 カ 浜口雄幸

問9 下線部 d に関連して、「友愛会」および「大日本労働総同盟友愛会」についての説明として、誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 友愛会は1912年に鈴木文治らにより結成された。
イ 友愛会は結成当初から階級闘争主義を掲げていた。
ウ 大日本労働総同盟友愛会は8時間労働制などを要求した。
エ 大日本労働総同盟友愛会は1920年に日本労働総同盟友愛会と改称した。

問10 文中の空欄 に入るもっとも適切な語句を以下のア～カのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『種蒔く人』 イ 『伊豆の踊子』 ウ 『蟹工船』
エ 『機械』 オ 『太陽のない街』 カ 『貧乏物語』